

◆ 今週のコメント

- ・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が2,735例あり、本年の累積報告数は90,865例になりました。本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- ・ **細菌性赤痢**の報告が1例(30歳代女性)ありました。症状は発熱、下痢、腹痛で、感染経路は不明です。本年初めての報告です。
- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が1例(60歳代男性)ありました。症状は菌血症等です。本年の累積報告数は7例になりました。
- ・ **梅毒**の報告が1例(70歳代男性)あり、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は33例となりました。京都市では、HIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を予約制で実施しています。詳細については、下記のホームページをご覧ください。
○京都市情報館「京都市のHIV検査について」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000271215.html>
- ・ **小児科定点把握感染症**は、前週までと大きな変化はなく、発生数は低く推移しています。

◆ 今週のトピックス: <侵襲性肺炎球菌感染症>

京都市では第18週に侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例ありました。過去5年の年間報告数は2017年から2019年までは63例から73例で推移していましたが、一昨年は25例、昨年は19例で、それまでの3割弱～4割程度でした。本年は今のところ7例の報告に留まっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 5例(肺結核 1例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 85例(肺結核 42例, その他結核 21例, 潜在性結核感染者 22例)うち喀痰塗抹陽性 16例】
- ・ **新型コロナウイルス感染症 2,735例【1月以降の累積報告数90,865例】**
- ・ 三類:細菌性赤痢 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 7例】
- ・ 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 33例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

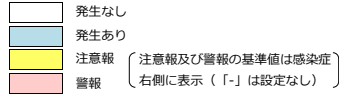
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.09	90
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.19	8
	③ 突発性発しん	0.16	7
	④ 水痘	0.07	3
	⑤ 咽頭結膜熱	0.02	1
	⑤ 手足口病	0.02	1
	⑤ 伝染性紅斑	0.02	1
	⑤ 流行性耳下腺炎	0.02	1
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

【次ページ以降の主な内容】

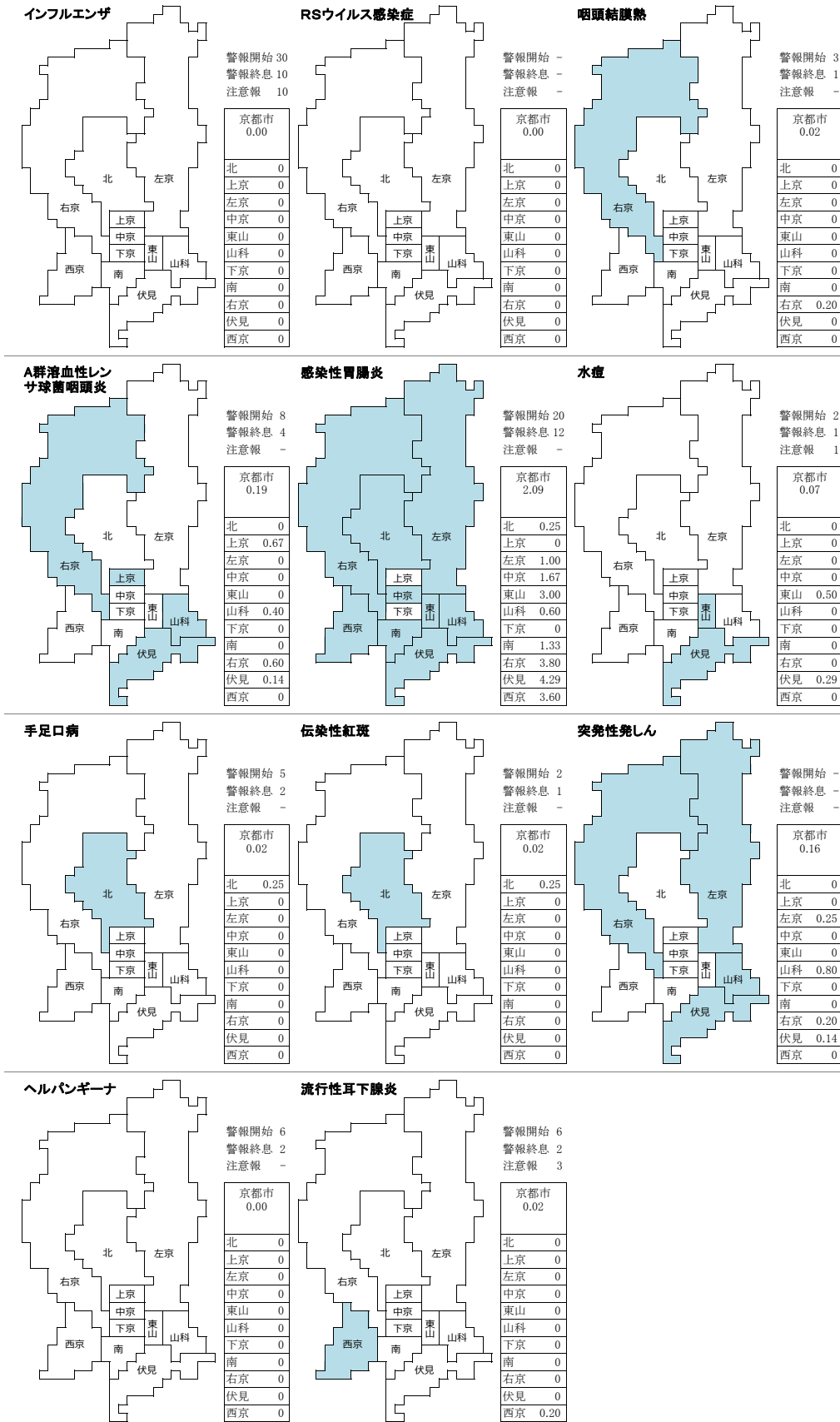
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <侵襲性肺炎球菌感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2022年5月11日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2022年第18週】



定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがって、定点当たり報告数は医療機関の立地条件や
規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第18週(5月2日～5月8日)トピックス: <侵襲性肺炎球菌感染症>

京都市では第18週に侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例ありました。過去の年間報告数推移を見ると、2016年までは増加が続き、以後2019年までは63例から75例で推移していましたが、一昨年は25例、昨年は19例で、2016年以降の3割弱～4割程度でした。本年は今のところ7例の報告に留まっています(図1)。

本疾患は2013年4月に感染症法の5類全数把握感染症として、診断から7日以内の届出が義務付けられました。全国の推移を見ると、2017年までは年々増加していましたが、2017年から2019年は3,200～3,300例程度で微増から横ばいでした。一昨年の全国の報告数はかなり減少してそれまでの半分程度、昨年は更に少なくなっています。本年は、現在まで404例の報告があり、昨年同時期とほぼ同じ発生状況です(図1)。

2017年から2022年第18週までの全国の報告数合計21,305例を年齢階級別でみると、最も多いのは70歳以上で46%と半数近くを占め、次いで60歳代が19%で、60歳以上で全体の65%を占めています。また、0歳が3%、1～4歳が13%で合わせて16%となっており、5歳未満と60歳以上の年齢層が疫学的に重要と考えられます(図2)。

本疾患の症状は小児と成人で異なります。小児では、肺炎を伴わず、発熱のみを初期症状とした菌血症が多く見られます。一方、成人では、発熱、咳嗽、喀痰、息切れを初期症状とした菌血症を伴う肺炎が多く見られます。

予防施策として、肺炎球菌感染症の好発年齢である5歳未満の小児と65歳以上(一部60歳以上)の成人を対象として、肺炎球菌ワクチンによる定期予防接種が実施されています。小児(生後2月から60月(5歳)未満)は無料、65歳以上(一部60歳以上)は原則として自己負担があり、いずれも予防接種協力医療機関で接種できます。新型コロナウイルス感染症の流行に関わらず、予防接種は適切に受けるよう心掛けましょう。接種対象年齢、接種回数、自己負担額、京都市予防接種協力医療機関については、以下のURLを参照してください。

○京都市が実施する子どもの定期予防接種について(京都市情報館 保健福祉局)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>

○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について(京都市情報館 保健福祉局)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

図1 京都市および全国の年間報告数推移

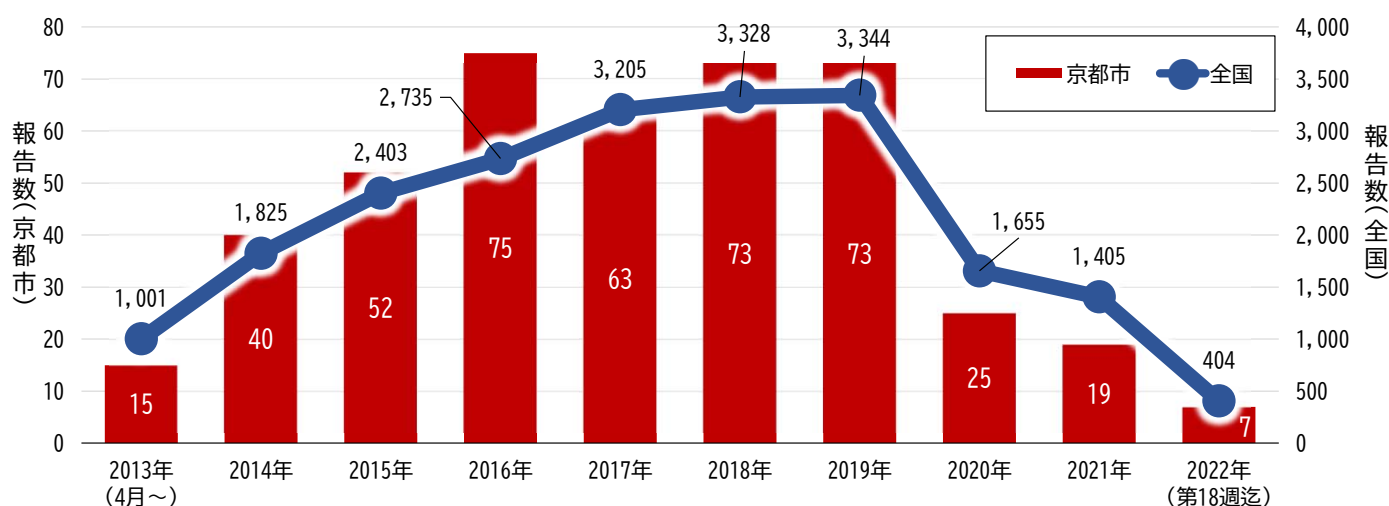
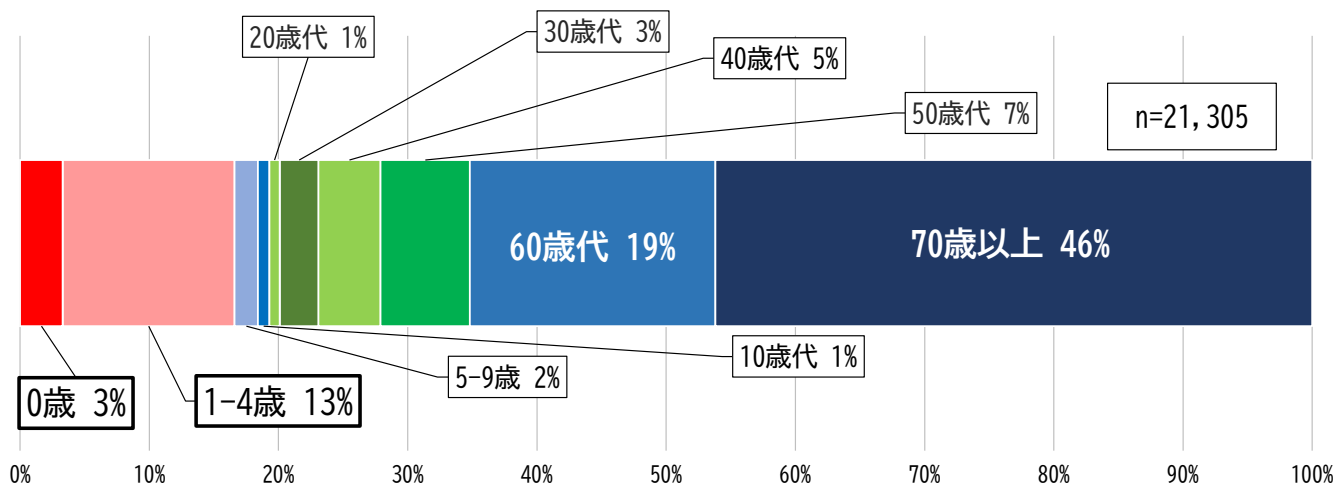


図2 全国の年齢階級別割合(2013年4月～2022年第18週)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第18週

疾病,行政区別報告数

2022年5月2日～2022年5月8日

データ入手日:2022年5月11日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-						
上京	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-						
中京	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	6	1	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	-	-	2	3	-	-	-	4	-	-	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-						
右京	-	-	1	3	19	-	-	-	1	-	-	-	2						
伏見	-	-	-	1	30	2	-	-	1	-	-	-	-						
西京	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	1	-	-						
京都市計	-	-	1	8	90	3	1	1	7	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	-	-	-	-	0.25	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-						
上京	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	-	-	-	-	1.00	-	-	-	0.25	-	-	-	-						
中京	-	-	-	-	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	3.00	0.50	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	-	-	0.40	0.60	-	-	-	0.80	-	-	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	-	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-						
右京	-	-	0.20	0.60	3.80	-	-	-	0.20	-	-	-	2.00						
伏見	-	-	-	0.14	4.29	0.29	-	-	0.14	-	-	-	-						
西京	-	-	-	-	3.60	-	-	-	-	-	0.20	-	-						
京都市計	-	-	0.02	0.19	2.09	0.07	0.02	0.02	0.16	-	0.02	-	0.20	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第18週

年齢階級, 疾病別報告数

2022年5月2日～2022年5月8日

データ入手日:2022年5月11日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		8	-	-	-	2	-	-	2	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		90	-	7	14	9	8	3	5	3	4	6	2	11	3	15	-	-	-	-	-	-
水痘		3	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		7	-	2	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.19	-	-	-	0.05	-	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.09	-	0.16	0.33	0.21	0.19	0.07	0.12	0.07	0.09	0.14	0.05	0.26	0.07	0.35	-	-	-	-	-	-
水痘		0.07	-	-	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.16	-	0.05	0.05	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	0.10	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第18週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2022年5月11日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	2	1	-
咽頭結膜熱		2	-	-	2	5	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		5	10	25	17	23	8
感染性胃腸炎		104	76	86	119	127	90
水痘		1	-	6	4	6	3
手足口病		1	-	-	-	2	1
伝染性紅斑		-	2	-	-	-	1
突発性発しん		7	7	7	4	8	7
ヘルパンギーナ		3	1	6	1	2	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	1	1	1
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		4	1	1	-	2	2
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		127	97	131	150	177	114

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	0.05	0.02	-
咽頭結膜熱		0.05	-	-	0.05	0.12	0.02
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.12	0.23	0.58	0.40	0.53	0.19
感染性胃腸炎		2.42	1.77	2.00	2.77	2.95	2.09
水痘		0.02	-	0.14	0.09	0.14	0.07
手足口病		0.02	-	-	-	0.05	0.02
伝染性紅斑		-	0.05	-	-	-	0.02
突発性発しん		0.16	0.16	0.16	0.09	0.19	0.16
ヘルパンギーナ		0.07	0.02	0.14	0.02	0.05	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	0.02	0.02	0.02
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.40	0.10	0.10	-	0.20	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		3.26	2.33	3.12	3.49	4.27	2.80

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。